

令和5年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①新学習指導要領を基盤にクリエイティブスクールの特性を融合した新しい教育課程を確立する。</p> <p>②生徒が学ぶ楽しさを実感できるような授業方法を確立する。</p>	<p>①RT-21 ホップからの繋がりを意識し、より生徒同士の協働を図れるRT-21 ステップの教材を開発する。</p> <p>②総合的な探究の時間でできた一人一台パソコンの活用を、様々な教科に広げてゆく。</p>	<p>①毎回行う確認テスト等の結果を次の教材作成にフィードバックする。</p> <p>②発表の場面だけでなく、探究活動を設定する中で様々な使い方を教員間で研究し共有する。</p>	<p>①確認テストで生徒の躰きを把握する。さらに、毎時の振り返りの結果を次の教材に反映させる。</p> <p>②総合の発表以外で活用する場面を設定できたか。さらに利活用法を共有できたか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>組織的な支援体制により、生徒一人ひとりが落ち着いて学習に向き合える環境を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全及び自転車でのヘルメット着用を推進する。 ・学校行事の規模と内容をコロナ禍前のレベルに回復させる。 ・SMTにも学習支援（サポート）を担わせ、学習面での困り感も解消する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校指導や自転車点検でヘルメット着用や交通ルールの遵守について指導する。 ・行事内のセクションを増やして生徒がリーダーシップを発揮する場面をつくる。 ・SMTがRT-21を中心にサブも分担することで学習サポートを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の発生数やヘルメットの着用率 ・リーダーを経験した生徒の数およびその自己評価 ・SMTが授業に入った回数とその効果を生徒や教員の振り返りから確認する。
3	進路指導・支援	<p>組織を機能的かつ急進的に動かすとともに、地域や外部機関との協働により生徒の自己実現をサポートし、自立できる力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のニーズに合わせた多様な進路実現に対応する仕組みを整える。 ・外部機関をとの連携を深めさらに活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路フェアを1回から2回に増やし進路に関する意識をより高める。 ・社会体験を発展的に解消し、新たに進路体験活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートで進路に対する意識が高まったか確認する。 ・進路体験活動がスムーズに行えたかをアンケートで確認する。
4	地域等との協働	<p>①保護者や地域との協働による開かれた学校づくりを確立する。</p> <p>②市との協働事業等に積極的に参加する。</p>	<p>①校外清掃等では生徒・PTA・地域と協働してよりよい環境づくりを目指す。</p> <p>②学校外のボランティア活動をコロナ禍前のレベルに回復させる。</p>	<p>①クリーンチャレンジなどで協働して校内・近隣・高齢者施設の環境整備を図る。</p> <p>②地域の行事に生徒ボランティアを派遣する。さらに派遣先を増やす。</p>	<p>①参加者数の増加率及び地域及び近隣の評価を高めたか。</p> <p>②ボランティア参加者数、充実度及び派遣先の評価</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①教育環境の整備と広報活動の充実に取り組み、開かれた学校づくりを進める。</p> <p>②安心・安全の学校づくりを基本に情報管理を徹底する等、事故不祥事ゼロとする。</p>	<p>①本校の教育活動を十分理解してもらうために学校説明会や個別相談会の充実を図る。</p> <p>②教職員が安心して働ける職場づくりを行い、相互理解から事故・不祥事を防ぐ。</p>	<p>①個別相談会や学校説明会の回数を増やす。全公立展を手始めに本校の魅力を発信する。</p> <p>②衛生委員会などで環境改善のための方策を確認・実践する。</p>	<p>①個別相談及び学校説明会の参加者数及びアンケートによる良いという評価の割合</p> <p>②職場環境づくりはストレスチェックで評価及び検証を行う。</p>